

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●コンソーシアム会員企業とドイツ林業・木材産業の調査に行ってきました！

※今回はページ数が多くなっていますので印刷時にはご注意ください。

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムでは、毎年、ドイツ林業調査を実施しています。

今回は、9月22日から29日に実施し、ロッテンブルク林業大学（以下「HFR」という。）やシュバルツバルトの林業作業現場、木材関連工場などを会員企業と共同で調査してきました。

<主な調査内容>

- ・林業労働安全対策の現地検討
- ・木質バイオマスエネルギー（木質ペレット）のレクチャー
木質ペレット製造工場、薪・ペレットストーブメーカー視察
- ・将来木施業レクチャーと現地検討、岐阜県での共同研究の打ち合わせ
- ・シュバルツバルトの林業作業現場視察
- ・KWF（ドイツの林業技術機械協会）との打ち合わせ

<行程毎の目的と得た知識・技術について>

○林業労働安全対策について

岐阜県内における林業労働災害発生率は全国平均よりも高いのが現状です。林業界全体で、労働災害を低減させるための対策が求められており、ドイツでの対策を日本での指導に活かすため HFR の Wolff 先生からレクチャーを受けました。

機械化の進んでいるドイツでも、急傾斜地や大径木伐採の現場があることからチェーンソー作業が必要な現場も多く、危険といわれている禁止動作等による事故が多いということです。実施している対策は、岐阜県内でも指導されている内容と同じものでしたが、防護服の完全着用など林業従事者の意識の高さが災害防止につながっており、岐阜県でも内容を工夫して、とにかく安全作業を徹底させる研修を実施しなければと感じました。



Wolff 先生(左)



安全な作業実演状況

○木質ペレット・ペレットストーブについて

コンソーシアムでは、今年から木質ペレット品質向上プロジェクトチームを設置したところです。現在、日本には木質ペレットの品質基準はあるものの品質向上に向けた対策の知識に乏しく、ペレットストーブについては基準が無いので、製品同士の比較すらできない状況です。

そこで、HFR の Pelz 先生から、ペレットについて10年以上先進的に取り組んでいるドイツの技術・知識をレクチャーしていただきました。また、ペレットストーブについても、先進的なドイツメーカーから排気や排煙装置の設計が重要であることなどを聞くことができました。調査結果に基づき、コンソーシアムのプロジェクトチームで活動していきます。



○将来木施業について

HFR の Hein 先生と森林文化アカデミーを中心に岐阜県内での将来木施業にかかる共同研究を具体的に進めるための打ち合わせを行いました。

・将来木施業を進める上での樹木にかかる条件

- ①樹高が15から17m以下、林齢では30年前後あたりであること
- ②枝下高が6から7mあること

現地検討も行い、将来木施業を実際に行っている施業現場を視察し、選木の仕方や、調査項目などの確認をしました。



○シュバルツバルトの林業作業現場調査

同行したコンソーシアム会員からの希望に応え、シュバルツバルトにて架線集材調査を実施しました。

今回調査した現場は、一部50度にもなる急傾斜地であること、標高が高く林地保護区域が指定され、高性能林業機械での作業ができないことから、架線系集材を採用していました。



現場では、フォレスターら3人で作業しており、タワーヤードと、それに連動したりモコン式搬器で、連携のとれた作業をしていました。ドイツメーカーの搬器や、ホイール式スキッドなどの作業性の高さを知ることができました。

参加者は質問を多く投げかけるなど熱心に調査されていました。日本にも様々な搬出技術がありますが、現場に合わせた効率的なシステム採用のため、選択肢の幅が広がったのではないのでしょうか。

○KWFとの打ち合わせ

2020年7月にドイツで4年に一度開催される欧州最大級規模の「KWF 林業機械展2020」が開催されます。開催内容について主催者であるKWFから詳細の聞き取り調査をしました。またKWFでは、ドイツで販売する林業機械や林業用防護服の審査を行っており、チェンソーの安全性の試験状況や、新規開発の機械の審査状況など説明を受け、安全性には非常に注意しているという印象を受けました。

なお、林業機械展にはコンソーシアムから大規模な調査団を派遣する予定です。後日、参加者を募集しますので多数の参加をお願いします。



KWFとの打ち合わせ状況



審査中の林業安全作業練習機械

<調査を終えて>

毎年、ドイツ林業調査を実施していますが、調査する人によって着眼点が違うため、毎回、新たな発見があります。今回は、特にペレット関係やKWFで新たな情報が得られました。また、これまで現地を見た参加者は、みなさん意識が変わったと感じています。話を聞くのも良いですが、実際に見るのは大きく違いますので、今後も続けていきたいと考えています。

来年度は4年に1度の欧州最大級林業機械展がありコンソーシアムとして大規模調査団を派遣する予定です。新たな技術や欧州企業連携先を見つけられたらと期待しています。

最後に本調査をコーディネートしていただいたHFRの方々に感謝申し上げます。

<コンソーシアムの主なイベント予定>

- 12/9～10 : WOODコレクション (モクコレ) 令和元年 (於: 東京都)
… コンソーシアムとして出展します。
- 12/17 : 涌井アカデミー学長と隈研吾氏の対談
- 12/18 : 知事に対する要望活動 (於: 岐阜県庁)
- 12/18 : アカデミー学生と会員企業マッチング (キャリアカフェ) セブン工業様

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行: 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局 (岐阜県立森林文化アカデミー内)
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com